

授業概要

保育現場で、子どもと多くの時間を共有し、その成長に大きな影響を及ぼすことになる保育者の専門性に関して、保育職の意義、保育者の心構え、制度上の位置づけ、知識、技能、態度などの習得等の側面から講義する。子どもとのかかわり、保護者や地域社会、専門機関等との連携のあり方などに関する現場での種々の具体的事例を取り上げながら、保育者という職務についての理解を深めることを目的とする。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	保育職の意義
第3回	保育の歴史
第4回	保育者の歴史
第5回	保育者に関する制度
第6回	保育者に関する法規
第7回	保育者の心構え1 子ども観・保育観
第8回	保育者の心構え2 資質
第9回	保育者と子どもとのかかわり
第10回	保育者同士のかかわり
第11回	保育者の仕事1 保育実践
第12回	保育者の仕事2 園の運営
第13回	保育者の仕事3 子育て支援
第14回	保育者の仕事4 外部との連携
第15回	保育者の専門性
第16回	筆記試験

到達目標

- 1 保育者という職務、専門性についての理解
- 2 法令による制度上の位置づけの理解
- 3 保育者としての知識・技能・態度等の習得及び考察

履修上の注意

日頃から、保育に関する話題に関心を持って過ごしてほしい

予習・復習

予習・復習のためのレポートを課す場合がある。

評価方法

定期試験 70%、授業中の提出物 10%、レポート 10%、授業態度 10%

テキスト

「最新保育資料集」 森上史朗監修 ミネルヴァ書房
その他、必要に応じて適宜参考書を指示し、また資料を配布する。